**日本語校閲依頼申請書**

◯日本語校閲依頼に先立って、**Turnitin を利用した剽窃チェック**を各自で実施してください。(実施方法が分からない場合は、指導教員に相談すること。)

◯この申請書は、**剽窃チェックの後で記入**してください。論文を指導教員に見せ、校閲を行うのにふさわしい内容・段階であることを確認してもらった後、承認の印鑑または署名をもらってください。

◯校閲者は、原則として、指導教員が選定します。校閲者として希望する人物がいる場合には、そのように指導教員に伝えてください。（校閲能力のある人物であれば、身分・所属は問いません。名古屋大学関係者でなくても問題ありません。）校閲の期限など、個別の要望については校閲者と相談してください。

◯効果的な校閲が行えるよう、単純な書き間違いやタイプミスを減らすように努めてください。また、時間的な余裕を持って、校閲者に論文を渡せるようにしてください。この制度を利用して校閲が可能なのは、論文1本あたり1回 (第1校のみ) です。

◯この申請書を、**校閲実施前に、文系教務課（国際開発研究科）窓口に提出**してください。また、校閲実施前に、校閲の対象となる論文を< [gsidoffice@gsid.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidoffice@gsid.nagoya-u.ac.jp) > まで、添付ファイルとして提出してください。校閲実施後は、校閲終了後の論文を< [gsidoffice@gsid.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsidoffice@gsid.nagoya-u.ac.jp) > まで、添付ファイルとして提出してください。

|  |
| --- |
| 申請者氏名 (フリガナもつけてください)・学生番号・学年・メールアドレス |
|  |
| Turnitin による剽窃チェックの実施日および類似率 (%) |
| 年　　　月　　　日　　　　　　　　　　　　％ |
| 校閲者の氏名、所属・身分 (学生の場合は学年も)、住所、メールアドレス |
|  |
| 校閲論文の題目・ページ数 |
|  |
| 校閲論文の種類 (下記から一つ選んでください) |
| 修士論文・博士論文・『国際開発研究フォーラム』投稿論文・『ククロス』投稿論文・  その他 (説明：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 校閲を実施する期間と場所 (予定) |
| 20　　年　　月　　日（　曜日）～　　月　　日（　　曜日）（　　　日間）  場所： |

指導教員氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印 (または署名):

「校閲の対象となる論文の原稿を確認しました。校閲にふさわしい内容・段階のものであると判断します。」